

2025年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘B) 成果報告書

書式 2

(適宜行追加可 Additional lines can be added as needed)

受入担当 教員	所属・職	生命環境学部・教授
	氏名	橋本 秀樹
海外客員 教員	所属・職	吉林大学 物理学院 教授
	氏名	王 曉峰 (WANG Xiao-Feng)
招聘目的	①. 授業担当及び研究 2. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○)	
招聘期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 7月 31日	
成果報告 Achievement Report 以下の内容を日本語か英語で記載して下さい。 Please describe the following in Japanese or English. 1. 授業担当及び研究 Teaching classes and research (1) 授業科目名 Course titles (2) 授業担当の成果 The achievement of the classes in which you are in charge (3) 研究の内容 Research Details (4) 研究の成果 Research achievement 2. 共同研究 Joint research (1) 共同研究の内容 Details of joint research (2) 共同研究の成果 Joint research achievement	今度の海外客員教員として招聘していただいて、とても有難いと存じております。 1. 授業担当及び研究 (1) 授業科目名：理工学研究科特別プログラム (2) 授業担当の成果：25名の理工学研究科前期の学生が授業を受けた。学生は新エネルギー関連の基礎知識及び応用例を学んだ。学生たちはエネルギーと有機エレクトロニクスの最新技術について、これまで以上に深く理解できるようになった。 (3) 研究の内容：電気会合による合成したクロロフィル誘導体導電膜の吸収スペクトル及び励起状態分子内電荷移動のダイナミクスに関する研究。 (4) 研究の成果：測定用のサンプルの準備ができた。これから時間分解吸収スペクトルの測定を計画している。測定結果を論文として発表する予定である。 2. 共同研究 (1) 共同研究の内容：重慶郵電大学の段講師を通じて、クロロフィル誘導体を用いた有機太陽電池の高効率化を行った。太陽電池は19.5%の高電変換効率を達成する上、時間分解吸収分光を用いて動作原理の解明も行った。 (2) 共同研究の成果：関連の成果として、“Chlorophylls for dual-function excitation relay and morphology regulation in organic solar cells” という論文を「Materials Science and Engineering R」という雑誌に連名で発表した。	
受入担当教員コメント (日本語で記載)	王晓峰先生には、理工学研究科特別プログラムでの講義を通じて、大学院生に新エネルギーおよび有機エレクトロニクスに関する国際的な最新知見を伝えていただき、大きな教育的貢献がありました。研究面では、クロロフィル誘導体導電膜の光物性に関する研究を進められ、国際共同研究の成果として著名誌に共著論文を発表されました。本招聘を通じて、学術交流と国際連携が一層深化したことを高く評価いたします。	

海外客員教員が成果報告欄をご自身で記入される場合は本書式をお使いください。

* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます